

令和2年度第1回亀岡市環境基本計画推進会議

- 開催日時 令和2年8月27日（木） 午前10時00分～正午
- 開催場所 亀岡市役所 別館3階 会議室
- 出席者 田部会長、加藤副会長、河原委員、山脇委員、面村委員、神崎委員、井尻委員、尾松委員、兒嶋委員、村山委員、田上委員、松山委員、木村委員、太田委員、由良幹事  
(事務局5名)
- 欠席者 石黒委員、上田委員、丸谷委員

1 会長挨拶

2 協議事項

(1) 第2次亀岡市環境基本計画の令和元年度の取組状況について

意見・質問	回答
<p>亀岡ふるさとエナジーに関して、太陽光発電は、設置後20年、30年すれば撤去しなければならない。その撤去費用を見込んでいるのか。撤去するとなると大量の産業廃棄物となることから、安い電力だからといって簡単に設置してはいけないと思う。</p>	<p>亀岡ふるさとエナジーが購入している太陽光発電は、既に他の民間事業者が設置しているものであり、撤去も含めて採算性を確認し、設置されているものと思っている。</p> <p>公共施設への太陽光設備の設置については、撤去も含めて採算性が確保できるか見極めながら進めている。公共施設から撤去する場合は、産業廃棄物の扱いとなる。</p>
<p>不法投棄対策で1件指導したとなっているが、指導せずにそのままになっているところがたくさんある。行政でまとめて撤去するほうが、同じような投棄者が増えないと思う。抑止効果となるので検討してほしい。</p>	<p>本市でも不法投棄対策を進めており、第2次亀岡市環境基本計画では平成22年の廃棄物投棄量54tを令和3年に20t以下にするという目標を掲げている。令和元年は13.8tとなっており、監視パトロールなどを行っている成果が出ていると考えている。</p>
<p>亀岡市に居住する外国人が増加傾向にあり、生活ごみを出す時に地域の方という問題が起こっている。先日の新聞に掲載されたが、亀岡市が14ヶ国語で</p>	<p>作成したチラシについては、亀岡市のホームページに掲載しているところだが、令和2年度の取組として実績が上がるものと考えている。今後の取組について</p>

<p>のごみの出し方チラシを作成した。令和元年度の報告には記載されていないが、今後、どのように利用されるのか。</p>	<p>ては、次期環境基本計画に含めていくのか議論いただきたい。</p>
<p>京都府における不法投棄対策について、投棄する一次的責任は投棄者で、その次は投棄物の排出者で、その次は土地の所有者・管理者となっている。廃棄物処理法の規定で行政が投棄者に成り代わって撤去し、費用を投棄者に請求できることとなっているが、全ての産業廃棄物に対応できるものでなく、生活環境保全上の支障があることが条件となっている。京都府でも何回か代執行という形で廃棄物撤去をして費用の請求を行っているものの、全ての廃棄物を行政で撤去することはなかなか難しい状況である。京都府では監視指導員による365日のパトロールや監視カメラを設置している。昨年では、設置した監視カメラにより、5人の逮捕者が出て有罪判決が出ている。</p> <p>また、「不法投棄やっつけ隊」という京都府と市町村、地域の皆さん、産業廃棄物処理業者、NPO、ボランティアが一体となつてごみの片づけをする仕組みもあるので活用してほしい。このあたりは大阪、兵庫に接する地域で不法投棄が持ち込まれやすい環境にあるので、自分の土地は自分で守ることを基本に、不法投棄があれば、連絡いただくとともに、フェンスを張るなどの再発防止の取組をお願いしたい。</p>	<p>(意見のみ)</p>

(2) 令和元年度環境マネジメントシステム活動報告書について

意見・質問	回答
<p>両面コピーが浸透したとのことだが、コピー用紙の購入量が前年に比べ、40万枚ほど増加している理由は何か。</p>	<p>コピー用紙は大量購入すると単価が安くなることから、令和元年度に大量に購入したものである。購入量は増加したが、コピー使用量を控えることとしているため、コピー使用度数は減少している。</p>
<p>亀岡市のし尿を南丹市に持って行き、南丹市のごみを亀岡市で受け入れるとの新聞記事を見た。南丹市のごみを受け入れることで焼却量は増加していないのか。</p>	<p>2頁の表にある「一般廃棄物」の「廃プラスチックを除く焼却量」が、平成30年度は19,282tで令和元年度は21,367tと増加しており、この部分が南丹市からの受入れによる増加である。</p>

(3) 第2次亀岡市環境基本計画の見直し概要について

意見・質問	回答
<p>2頁の「(4) リーディングプロジェクト」の「イ 環境を基軸にした亀岡ブランド創造プロジェクト」では、具体的にどんなことがされるのか。地域経済循環率の向上が環境を良くするのか良くしないのかも分からないので教えていただきたい。地域経済循環率は計測可能なものなのか。現状どうなっているのか。</p>	<p>今後、検討いただくこととなるが、例として、環境に配慮した地域で採れた農産物のブランド化として、農業と環境を組み合わせることが考えられる。</p> <p>地域経済循環率については、RE S A Sという国のサイトで計算可能である。亀岡の現状は、エネルギー関係の約30%が市外に流失している状況である。</p> <p>プラスチックごみゼロ宣言の趣旨は、賑わいや経済の活性化も環境を基軸にして進めていくものであり、農業も観光産業も視野に取り組みでいきたいと考えている。</p>
<p>この計画の目標は「人と環境にやさしいまち」となっているが、この目標は他の行政の計画とどのように連携しているのか。それぞれのテーマの一貫性が疑問に思ったりするので、目標の一貫性や狙いを整理いただき、同じ方向に向かっているのか確認したい。</p>	<p>現在策定中である第5次亀岡市総合計画との整合も図りながら、検討いただきたいと考える。</p>

<p>今、篠町で山を切り開き、工業団地か何かを整備されている。インフラ整備は事業者が行っても、道路、下水などは公共投資が必要である。農業をしている人は、周りの畔や市道、歩道であっても自主的に草刈りをしているが、進出する企業は、自分達の敷地の管理は行うが、そこ以外は草が繁茂しても手入れしない。もっと今あるまちを活かして、環境負荷の少ない目標に向かって進めればと思う。</p>	<p>(意見のみ)</p>
<p>リーディングプロジェクトの「環境を基軸にした亀岡ブランド創造プロジェクト」は霧の芸術際と関係したものなのか。関係する資料を提示してほしい。</p>	<p>地域経済循環率のことも含めた資料を用意したい。</p>
<p>第5次亀岡市総合計画との整合性を図りながら環境施策を考えていくとのことだが、2頁にあるSDGsとの関係も大事である。最近、亀岡市がSDGs未来都市に認定され、SDGs未来都市に関する施策も第5次亀岡市総合計画に出てくるのではないかと考えている。SDGsと環境の関わりは、SDGsの方が広い概念であり、SDGsの中の環境に関わる視点でもって環境基本計画を作るものであると考えている。第5次亀岡市総合計画の中にSDGsの考え方があって、その中で環境基本計画において絶対に取り組まなければならないアイテムを示してほしい。</p>	<p>現在策定中である第5次亀岡市総合計画との整合も図りながら、検討いただきたいと考える。</p>

#### (4) 市民アンケート、事業所アンケートについて

- ・アンケートの調査数、調査手法について

多数決の結果、全員一致で郵送によるアンケートは市民アンケート3,000部、事業所アンケート50部とし、インターネットでもアンケートを募集することとなった。

・市民アンケートについて

意見・質問	回答
インターネットと郵送になった場合、郵送の部数は変わるのか	インターネットの回答件数が読めないため、(案)のとおり市民3,000部、事業所50部を送付したいと考えている。
質問2の選択肢に「やや」、「あまり」とあるが、「やや」は軽微な変化で、「あまり」はある程度変化があることを指している。言葉の定義では「やや」と「あまり」では気持ちの幅が異なる。質問1では「どちらかといえば」となっており、気持ちの間隔が同じになっている。恣意的でなければ幅を合わせた方がいいと思う。	ご指摘のとおり一貫性のない部分があるので検討する。
質問3は、「考え」を問いながら、「行動」を聞いているので、どちらの問いなのか見直しが必要と思う。	ご指摘のとおり一貫性のない部分があるので検討する。

主な意見
質問1の自然環境の項目の「田や畑など」に「山」も加えてほしい。
質問2の項目について、割り木で風呂を沸かす、ストーブを焚くなどの自然の燃料に対する項目がない。こういった視点で質問項目に追加してほしい。
選択肢に「どちらともいえない」、「あまりあてはまらない」という中間的なものは不要で、○か×でいいと思う。曖昧なことを聞いても参考にならないと思う。
質問4の質問項目に「エコバッグ」、「マイボトル」、「外出時に出たごみは持ち帰る」とあるが、質問2の質問項目と重複している。
質問4は、我々が聞きたいこととして、亀岡市はかめおかプラスチックごみゼロ宣言により使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指しており、あなたは何が必要と考えますかという質問はすごく良い質問だと思う。
質問5の質問項目に「埋立てごみ」とあるが、どんなものが埋立てごみになっているのかイメージし難いと思う。(7)の「プラスチック容器」と同様に例示があるといいと思う。
質問6について、リサイクルは工業的なイメージがあり、技術的にも市民が取り組めるような内容ではないと思う。市民が取り組めるものは「リユース」であり、「リユースショップの利用」、「メルカリなどの不用品を交換するサイトの利用」、「ごみの排出量を減らす取組をしていますか」などの項目が良いと思う。
質問6は非常に重要で、今の時代にリサイクルだけしか出てこないのはおかしいと思う。どちらかというとやってほしいのはリユースだと思う。亀岡市としてもレジ袋を含め、プラスチック

ごみ減らす方向であるので、質問の視点がリサイクルしかないのはおかしいと思う。こちらが誘導するということではないが、本当に聞きたいことを質問としてほしい。

質問6について、リサイクル、リユースとして海外に寄付することが流行っているが、その行方も把握も必要と思う。例えば、ファストファッションにより衣料が大量購入され、使用後にアフリカなどの海外に寄付されるが、一部しか着られずに、大多数が放置されて結果的には多くのCO2を出している。また、衣料を染めることによる水質汚染も起きている。

リユースは再び使えるサイクルを作るが、リサイクルは工業的であり個人では難しい。自分ができることはリユースになると思っている。リサイクルに絞らずに質問項目を検討して、それに対する考えについてアンケートをすることにより、活きる結果になると思う。

質問7の問いについて、「地球温暖化を防止するためには一人ひとりの日常の行動が重要である。」となっているが、2行目では「家庭で導入しているものについて○をしてください。」となっている。一人ひとりの行動と家庭での導入が結びつかないので、分かりやすく見直した方がよい。

質問2であったバイオマスを使ったお風呂、ストーブ、ボイラーなどは、この質問項目に入れるのが適しているのではないかと思う。

また、この質問項目に「太陽熱温水器」を加えることを検討してほしい。比較的安価で導入でき、夏場はエネルギー削減に貢献できるものと思っている。

質問7は、他の委員からもあったが、分かりにくいところがある。視点を改めて亀岡のリーディングプロジェクトはエネルギーの地産地消を推進するという視点で、「エネルギーの地産地消にとってあなたができることは何ですか。」とすれば、将来的にも議論しやすいと思う。

質問8では、大きな問題だけを取り上げているが、亀岡市の施策の認知度を聞く設問があってもいいのではないかと思う。

質問9では、すごく曖昧な聞き方となっている。どの情報に対するものなの具体的に記載してもいいのではないかと思う。

質問12の選択肢で「あまり望ましくない」、「望ましくない」に違和感を持っている。望ましくないと回答される方がいるのか。表現を工夫した方がいいと思う。

質問12について、亀岡市もSDGs未来都市に認定されているので、環境像をもう少し増やしてもいいのではないか。例えば、「持続可能な社会をめざすまち」、「景観と社会を実現するまち」などを追加してはどうかと思う。項目の「(11)環境問題をリードする」という部分は環境問題が多発しているように思えるので、「環境政策をリードする」にしてはどうかと思う。

全質問のあり方として、亀岡としてやりたいこと、こういうまちにしたいということに対して、市民としてどう思うのかという問いの方が答えやすいと思うし、反応も変わると思う。そのように聞かないと聞き方によってもアンケート結果が変わってしまうので、質問の仕方が大事であると思う。

また、このアンケートの序文としてアンケートの前提を記載しておかないと回答も大きく変わってしまうと思う。

・事業所アンケートについて

主な意見
<p>亀岡の事業所でも、外国人労働者が増えてきており、社員にごみの出し方を徹底しているかという項目があっていると思う。</p> <p>また、外国人だけでなく、日本人も含めて分かりやすいやさしい日本語で役所ことばを使わないようにして文章を作してほしい。</p>

3 閉会